ホッピーだより

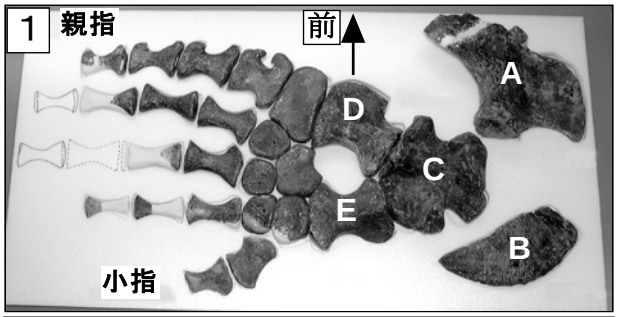
平成20年 3月 1日（2008/ 3/ 1） No. 280

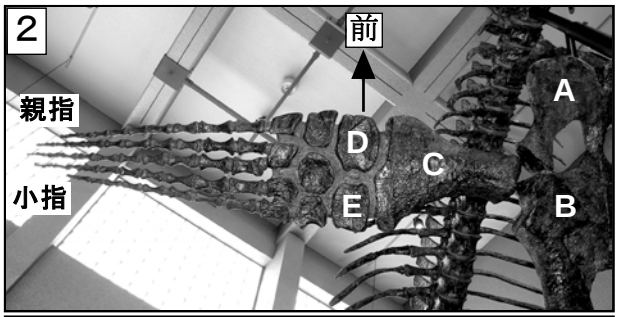
むかわ町立穂別博物館
054-0211
北海道勇払郡むかわ町穂別80-6
0145-45-3141（Tel & Fax）

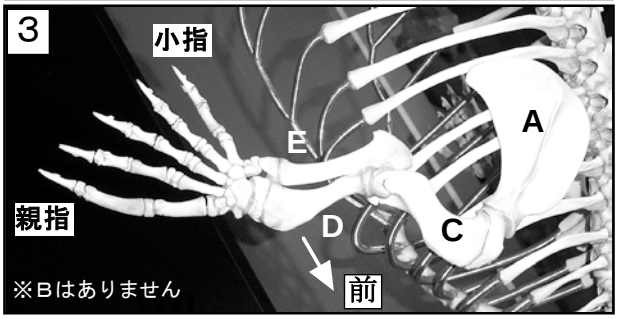
クビナガリュウのホッピー

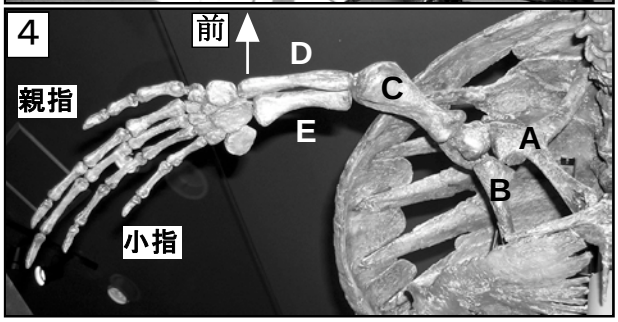
モサゴンのひみつ９

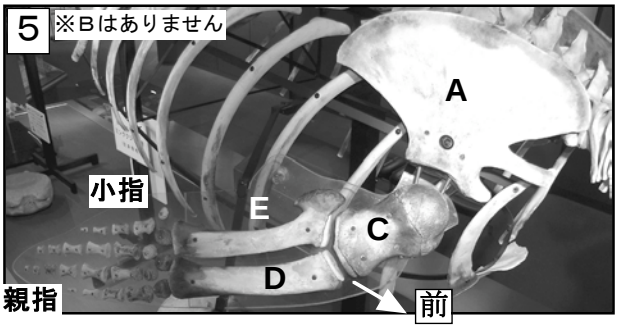
「だれのうで（まえあし）？」 ※ぜんぶ、みぎあし











骨の名前（※Ｂ烏口骨は、ほ乳類には普通はありません）

Ａ：肩甲骨（肩の骨）
Ｂ：烏口骨（肩ー胸の骨）※
Ｃ：上腕骨（うでの、肩ーひじの骨）
Ｄ：橈骨（うでの、ひじー手首の骨＜親指側＞）
Ｅ：尺骨（うでの、ひじー手首の骨＜小指側＞）

１ー５の写真は、だれのうで（まえあし）でしょう？　次から選んでみましょう。

・モササウルス　・クビナガリュウ　・ウミガメ　・クジラ　・アザラシ

答えは...

１（肩ー手首が短くなり、指の骨の数が増えています）：モササウルス

２（指の骨の数が増えて、うでのそれぞれの骨が板のようになって、全体で大きなヒレになっています。ひじや手首は曲がりません。）：クビナガリュウ

３（指の骨が長くなっています。肩やひじなどは自由に動きます）：アザラシ

４（指の骨が長くのびて、ヒレになっています）：ウミガメ

５（指の骨は、かんたんな形です。ひじや手首はあまり曲がりません）：クジラ

水の中に入った動物は、前後の足を大きなヒレにするため、指の骨が長くなったり、指１本あたりの骨の数が増えたりします。クビナガリュウとウミガメは、同じようにヒレになった足で泳ぎますが、骨の形はかなり違いますね。モササウルス、クジラ、アザラシは、前足を泳ぐ時に使わないのは一緒ですが、それぞれ違った形をしていますね。

ぜひ、博物館で、実物を見比べて下さい。　（学芸員　桜井）

こんどはシカさんと仲良くしてみよう

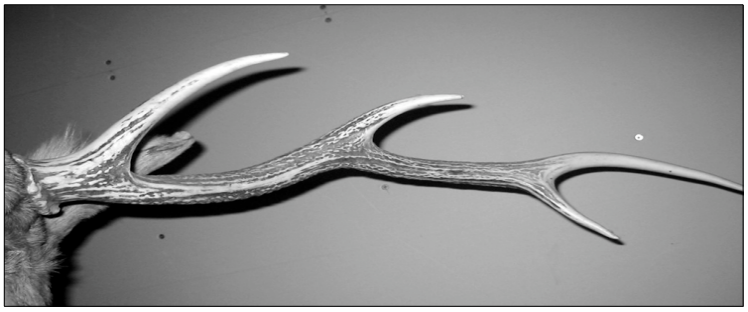
シカのツノはなぜあるの？

［博物館にいるオスのシカ］

先月、先々月と北海道の大型野生動物のクマについて考えてみました。では今回は同じく野生動物のお仲間、シカについて調べてみましょう。

現在国内には、ニホンジカの仲間が全部で7種類生息しています。中でもエゾシカは一番大きく、大人のオスでは140kgにもなり横綱朝青龍関と同じくらいの重さになるとか・・・。「シカと相撲をとって負けたよ」と、車がペチャンコになったという話を聞いたことがありますが、もしかすると朝青龍なら勝てたのかもしれませんね？

シカの角はオスにだけありますが、毎年春には落ちてしまい、夏から秋にかけて徐々に角が出来ていきます。1才では1本角、2才で枝角（えだづの）が1ー2本、4、5才でようやく3本枝が完成します。



［立派な3本枝の角］

そんな立派な角、いったい何のためにあるのでしょう。シカの出産期、育児期は春から夏にかけてなので、外敵からわが子を守るため！といいたいところですが、その頃角は落ちてしまい、角の土台となる袋角（ふくろづの：血管だけでブヨブヨしていて見るからに軟らかい）があるのみです。とても武器にはならず、外敵どころかメス（妻？）からも疎（うと）んじられ、群れを離れて独りぼっちの事が多いとか。が、しかし、秋に立派な角が生えた途端「へーんしん！」と言っているかどうか、人格ならぬ鹿格（？）が変わったかのように、オス同士でメスを奪い合い、その時こそ角は威力を発揮するのです。しかしこの場面でも、角はお互いをねじ伏せようとはしても、相手を傷つける事は偶然であり、武器としては働かないのだそうです。

そうです。シカのあの立派な角は、雄々しく精悍（せいかん）なあの角は、大好きなメスに気に入られ、カップルになる事**のみ**が目的なのです。だが、しかし、やがてカップルとなってメスは妊娠し、春になると子を産みます。その頃オスは・・・。

むかわの化石や生き物

ウミユリ（復元模型）

ウミユリは植物に見えますが、ウニやヒトデと同じ棘皮動物（きょくひどうぶつ）で、その中でも最も原始的と考えられています。最初は浅い海にもいましたが、白亜紀の中ごろに深くへ移り、現在では100mより深い海でしか見られません。ウミユリをエサとする魚が増えたためとも考えられています。

２００８年３月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	■3	4	5	6	7	8
9	■10	11	12	13	14	15
16	■17	18	19	20	21	22
23	■24	25	26	27	28	29
30	■31					

３月のこよみ

３月は、月曜日が休館です

■：休館日

セキツイ動物（背骨のある動物）の体のつくりは、基本的には、みな同じです。しかし、種類によって、生活の仕方によって、違っています。逆に、違う種類でも、同じ生活をしていることで似たような姿になることは、良くあります。（さ）